

# 中丹の教育 まなび通信

京都府中丹教育局  
第203号  
令和6年12月4日

## 「言語活動の充実」及び「言語活動を通じた指導の充実」に向けて

### 令和6年度中丹英語科授業研究会

令和5年度全国学力・学習状況調査英語の結果から見えた中丹管内の英語教育における指導の課題改善に向けて、令和6年11月15日（金）に福知山市立日新中学校にて開催しました。まず、趣旨説明で中丹管内における課題とその改善に向けた指導のポイントを確認するとともに、授業参観の視点について共有を図りました。授業参観後、研究協議にて授業の振り返りをはじめ、日頃の実践交流をしました。その後、3学期実施を予定している単元の計画作りをグループで行いました。

#### 中丹管内における課題とその改善に向けて

- 基本的な語や文法事項等の知識の定着、さらに、それらを適切な目的や場面等で活用することに課題がある。
- 日常的話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く上で学んだ英語表現を活用できない課題がある。

- どのような活動を通して  
→言語活動を通して
- どのような力を育む必要があるのか？  
→目的や場面を意識し、適切な言語材料を取捨選択できる力や自身の考えを整理、再構築することのできる力を育む

#### ＜課題があった問題例＞

(2) 次の英文は、ある生徒が文書作成ソフトを使って、スピーチコンテスト (speech contest) について **スミス先生 (Mr. Smith) 宛てに書いた【メール文の下書きの一部】** です。送信する前に友達に相談したところ、友達から **【コメント】** をもらいました。【コメント】にしたがって、下線部を書き直さない。

**【メール文の下書きの一部】**

Dear Mr. Smith,

How are you?

We have a speech contest next Friday.  
The speech contest starts at 10:00.  
You have to come to the speech contest.

**短答式問題**

**【コメント】**

 この英文は、**依頼する** 表現に修正したほうがよいと思う。

#### 中学2年 Program 6 「Live Life In True Harmony」 福知山市立日新中学校 平野 梓 教諭

公開授業

単元の指導にあたり「目的・場面・状況」を設定した単元末のゴール活動に向け、1コマ1コマの授業に単元末のゴール活動につながる言語活動を組み込み、言語活動を通して、生徒自身が自分の伝えたい内容を構築していく力や適切な言語材料を取捨選択する力を育むことを目指しました。公開授業は単元時数全9時間の2時間目で「受動態」の用法理解を本時の目標に設定しました。

#### 単元末のゴール活動

日本文化を知るために、冬休みに日本を旅行しようと考えているALTが行ってみたいと思える観光地を提案し、その場所や建物などの魅力について伝えることができる。



#### ＜本時の流れ＞

○Small Talk 【聞く活動】  
単元末のゴール活動にかかわるデモンストレーションを行い、その中で受動態の文法導入も行う。

○Practice 【知識の習得】  
受動態への理解を深めるために口頭によるインプットを行う。

○Communication 【言語活動】  
3文程度で自分がALTに勧めたい場所について既習表現や受動態を用いてペアで伝え合う。

机間指導の中で、生徒と英語でやりとりをして、内容を広げたり、深めたりする指導や文法的な正確性に焦点を当てて指導を行う。

○Review 【振り返り】  
学習の見直しを持つために単元振り返りシートを用いた本時の振り返りえを行う。

振り返りの視点  
①文法事項について  
②単元末のゴール活動で伝える内容について

#### 【参加者の感想】

- 先生の英語が流暢で、生徒にとって良いモデルであった。
- 言語活動の中でのフィードバックの大切さに改めて気付いた。
- 複数の英文を比べ、「生徒の気付き」をもとにした文法導入を行うスタイルが参考になった。

#### 研究協議

演習の様子

演習Ⅱでは、「目的・場面・状況」が設定されている単元末のゴール活動を設定し、逆計算で単元末のゴール活動につながるように1コマ1コマの主な活動内容を考えました。グループごとに熱心に協議をする姿がありました。

- 最終的には初見の英文を読ませ、その内容をもとに意見を述べさせるために、「読む力」「話す力」を育くむための単元計画について
- パフォーマンステスト等で言語材料に縛られすぎないように、様々な英語を使い柔軟に表現できる力の育成を心掛けていくことや言語の幅を広げる活動を増やしていくことなどについて など



#### ～中丹管内の英語における課題改善に向けた授業改善の視点～

- ①目的・場面・状況のある「言語活動」を設定し、適切な言語材料や表現を取捨選択できる力を育む。  
その際に、「言語の使用場面」「言語の働き」に関する事項を学習指導要領で確認をする。
- ②授業者自らが英語を用いて生徒とのやりとりを通して、語彙・表現の定着を図ったり、考えを深めたり、広げたりする指導を行う。また、**正確性に焦点を当てた指導を大切にする。**
- ③文法事項や語彙にかかわる言語面・言語活動にかかわる内容面の両面から振り返らせ、それに基づいて適切なフィードバックを行う。